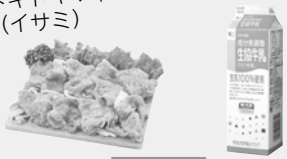


食べ物の大切さを感じる産直産地ツアー



ドキドキ！牛へ牧草を近づけると…。「モグモグ」
(イサミ)



酪農家さんから生乳を集めてくるタンクローリー車(上)。そのタンクの牛乳をすぐに受入検査(右)。検査にパスしたものだけがパック工場に運ばれます(おかやま酪農)



牛をこんなに近くで見られることはないので楽しかったです。ぼく場は近くにないので牛さんの食べる量にびっくりしました。私は牛さんはこわいと思っていました。けれど牛さんのほうがおくびようだったので、ほっとしてふれあえました。よく見ると目がくりくりしていて、かわいかったです。(城東区 奥田さん 9歳)

実際の商品に対する厳しい検査を、自分の目で確かめられ、今まで何気なく見ていたカタログも、帰ってきちんとチェックしました。手にとって自分の手で確かめて買えないからこそ、こういう企画があると、もっと信頼度が増します。

(寝屋川市 S・Sさん)

報告

岡山モーモーツアー

うしさん、かわいい
かわいい♡



(イサミ)



植田牧場(おかやま酪農)

夏休み子ども企画

パルコープ 7月27日(20名参加)、8月17日(21名参加)

物流センター見学ツアー

ドライ食品の所がきかいがすごくてそこで仕事してる人もすごいと思いました。れいとうこの食品をしわけるところのしごとを体けんしたとき、さむい中やってる人はすごいと思いました。

(寝屋川市 梅野くん 8歳)



みなさんが出してくださった「商品の仕分けビニール袋」は、固めて棒状にしてからリサイクル業者さんに渡します



〓 今から見学に行ってきます！〓



流れてくる発泡スチロール箱に冷蔵の商品を入れていきます(上)。バナナの袋詰め体験(左)

清潔な職場で、整理整頓されている点が気持ちよかったです。緊張しながら見学していると、廊下などですれ違う職員さん方の「こんにちは」の挨拶に気持ちがほぐれ、楽しく見学させていただきました。届けてもらう品々が、あんなに沢山の方々の手を経て、私達の元に届いている事に驚き、感謝の気持ちが一層深まりました。

(枚方市 H・Eさん)

今回東北応援バスには初参加でしたが、目に見える被害の痕跡が分らなくなってしまう前に見ておく機会が持てたことは、有意義だったと思います。自分にとって親戚のいない東北地方を訪問できたことは、何らかの縁とも感じています。

復興が年々目に見えて進むことは幸いなことですが、同時に支援の形も状況に応じた対応が求められているとも感じました。例えば今回の東北応援バスも、農業の復興や活性化を促進、アピールするために現在世界的に推進されているアグリツーリズムのような形に変貌させて、より幅広く参加者を公募できるようにするのも一つの方向性ではないかと思いました。

(枚方市 梶山民志さん)



NO.81

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

ようやくこの9月26日、大槌町内で被災した小学校4つと中学校1つが統合された「大槌学園」(公立の小中一貫校)が、5年間余りの仮設校舎から新設校舎での学びがスタートしました。

1年生から9年生まで、児童・生徒が637名とのこと。近くの災害復興公営住宅に住む方から伺ったところ「今日は朝7時頃から賑やかな登校姿に自然とほほ笑みが…」と。震災から5年半近くを仮設プレハブ校舎で学んだこどもたちは、高台の校舎への坂道を、隣接する大槌高校のお兄さん・お姉さんと時には一緒に登り降りします。各教室の前に掲げられた木製プレートには、大槌自慢「ひょっこりひょうたん島&オーちゃん(大槌のマスコット)」も彫られ、教室とともに図書室(名前は「木の森」)では木の香りがする中で健やかに学び、また運動場やプールでは思いっきり身体を動かすのだらうなあ…と私も嬉しくなりました。

開設にあたり保護者も協力して引越しのお手伝い、通学路にはお年寄りボランティアが見守り隊を始めておられるそうです。また高台の下に震災後にできた復興商店街(元小学校のグラウンド跡)や1年前にオープンしたJA直売所、川を安全に渡るためにできた通学路の橋の横にできた新設の消防署・防災センターなど、こどもたちと共に元気な街の再スタートを喜びたいと思います。

(岩手県遠野市に常駐する

パルコープボランティア事務局・林さんより)



ずっとボラの会(東北応援バス参加者の有志の会)よりお知らせ

<今後の予定> ぜひ、お立ち寄りくださいね。

日程	会場
10月31日(月)	つ る み 店
12月4日(日)	西 く ず は 店

時間はいずれも
10時～15時です。

パルコープの店舗一覧はこちら。
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

店頭で東北グッズ販売と募金活動などを行いました。
◎東中浜店(10月2日) 売上げ30,430円と募金1,215円

※東北応援に関する情報はホームページでも見るができます。 <http://www.palcoop.or.jp/shinsai/higasinihon/>

パル・よどがわ・なら
組合員さんの

2016年度 第4回 東北応援バス報告

8月19日～22日



災害公営住宅の花壇整備(大槌町)



津波に襲われた元大槌町役場に
献花を行いました



よどがわ生協・ならコープ合同企画

お1人でも
ご家族でも

2016年度 第6・7回「東北応援バス」参加者募集

企画回	実施日	3生協定員	申込締切
第6回目	12月23日(金・祝)～12月26日(月)	60名	11月25日(金)
第7回目	12月28日(水)～12月31日(土)	60名	12月2日(金)

※最低実施人数15名

今までに参加された方も、申し込みを受付ています。定員を超えた場合は抽選となります(初めてのの方が優先です)。

【参加費】中学生以上 お1人 15,700円

小学5・6年生 お1人 12,700円

※小学生はかならず保護者同伴でご参加ください

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バスで行きます

1日目 パルコープ京橋事務所(本部)集合(18時予定)(バスで移動、車中泊)

2日目 岩手9時頃着、ボランティア活動、被災地視察 (宿舎泊)

3日目 ボランティア活動 (バスで帰阪、車中泊)

4日目 パルコープ京橋事務所前到着(9時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、小学校5年生以上の方。複数名参加可。

※活動内容と場所は、現地での要請に基づきます
※持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内します(締切後、約1週間後)
※宿舎は男女別・相部屋です
※参加費には、傷害保険・宿泊費・食事代(1日目以外)などを含みます
※天候不順などにより中止になる場合があります

【申し込み・問い合わせ】

組合員サービスセンター ☎0120-299-070

携帯・PHSからは ☎072-856-7671(有料)

(月・土 9:00～17:00 火～金 9:00～18:00)

〈ホームページの専用フォームからも申し込みます〉

https://welcome.palcoop.or.jp/form/apply/tohoku_bus/

カメラ機能のある携帯電話はこれを読み取るとホームページにつながります↑



生活協同組合おおさかパルコープ 大阪市都島区東野田町1-5-26
大阪府知事登録旅行業第2-1360号 総合旅行業務取扱管理者 山根洋子

取消料について

	契約解除の日	取消料(お一人様)
お申込後、組合員さんの都合により取り消しになる場合、及び旅行代金所定の期日までに入金がなく申込みをお断りした場合、旅行代金に対し右記の利率で取消料(お一人様につき)をいただきます。又、組合員さんの都合で出発日及びコースの変更人員減をされる場合も取消料をいただきます。取消料は営業時間内に申し出られた日を基準といたします。	1)21日目にある日以前の解除 2)20日目にある日以降の解除 (3～6を除く) 3)7日目にある日以降の解除 (4～6を除く) 4)旅行開始日の前日の解除 5)当日の解除(6を除く) 6)旅行開始後の解除または無連絡不参加	無料 旅行代金の20% 旅行代金の30% 旅行代金の40% 旅行代金の50% 旅行代金の100%

この企画は、当生協「旅行業約款(募集型企画旅行契約)」によります。

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2016年3月21日～2016年9月20日)
19,271,341円 (この金額には2015年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含みます)